



関の子

ひとり立ちできる子

すすんで学ぶ子・・・かしこく
たすけ合う子・・・やさしく
けんこうな子・・・たくましく



吉川市立関小学校 学校だより

令和4年 1月号

児童数
485名

吉川市吉川団地1-10

TEL 048(982)6247

FAX 048(984)5272

生活目標

ふくそうを
整えよう

一年の計 「凧（りん）として生きる」

校長 坪井 俊治

令和4（2022）年、明けましてあめでどうぞございます。

私は、元日には家のすぐ近くの小さな川にかかる橋の上で初日の出を見ることにしています。冷たい。だけれども何か緊張のある空気。そんなものを感じつつ、太陽が昇るのをじっと待ちます。そして、初日の出とともに「一年の計」。心に決めてがんばることを思い浮かべます。今年は、「凧として生きる」

さて、「凧として」とはどんな意味なのでしょう。辞書を引いてみます。4つの意味が出ていました。

1つめ。寒気がきびしいさま（ようす）。また、寒気や尊敬の念によって気分が引きしまっているさま（ようす）。私が感じている元旦、日の出の時の空気がこれにあたるのでしょうか。

2つめ。人の態度や姿などがきりっとしているさま（ようす）。「凧々しい」という言葉もよく使われます。

3つめ。計量がきわめて厳密であるさま（ようす）。はかった大きさが正確でまちがいのないこと。転じて、物事の処理がきちんとしてしているさま。つい使ってしまう「ちゃんとやる」を表していると考えます。

4つめ。澄み切った、鋭くひびく音を表わす語。静まった場の中で聞く、言葉や音（音楽）は心に響きます。

これらの意味から、「凧とした人の姿」は、ゆるみがなくピンと張った感じであったり、正しさであったり、そんな雰囲気を感じさせるのだな、と思います。

吉川市では、教育大綱を「家族を 郷土を愛し 志を立て 凧として生きてゆく」と定めています。「凧」は、吉川市の教育が目指す人の姿であり、また、本校の学校教育目標「ひとり立ちできる子」の大切な資質です。

凧として、物事に取り組み、自分自身をよりよく、高めていく。私自身、そんな人でありたいですし、そういう人を育てていきたい。このような思いを込めて、「凧として生きる」を一年の計とします。

令和3年度の締めくくりである3学期を充実した日々とし、開校50年となる令和4年度へとつなげていけるよう、教育活動を進めてまいります。家庭、地域のみなさまには、変わらぬお力添えをお願い申し上げます。

吉川市教育大綱 家族を 郷土を 愛し 志を立て 凧として生きていく

アスレチックを順次、撤去していきます

昭和54年度に竣工し、以来40年を超える年月、子どもたちの遊びの友として、また体力向上の手助けをする教具として、その役目を果たしてきました。しかしながら、経年等による状況は使用時の安全確保に困難であり、今後の維持管理にかかる様々な資源を鑑みて、今年度残りの3学期から、徐々に撤去をしていくこととしました。制作に携わっていただいた皆様、またこれまで維持管理に多大なお力添えをいただいた皆様には、心より感謝申し上げますとともに、撤去という判断につきましてご理解を賜りたくお願い申し上げます。

まほうの言葉集会（人権集会）

12月7日（火）にオンラインで「まほうの言葉集会」が行われました。自分や友達を大切に、仲良く学校生活をおくるために、一人ひとりが標語を考え、学年代表の児童が作品を発表しました。

代表委員会の児童による手話の歌「友だち」の発表もありました。心温まる、素敵な集会でした。



1月は1、2月分の給食費（4100円×2）が、まとめて1月4日に引き落とされています。

振替えができなかった場合は、**1月17日（月）**に再振替があります。ご確認をお願いいたします。

3月分の振替は2月1日（火）、再振替日は2月15日（火）です。（今年度最終の振替です。）



日	曜	1月の行事予定
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	第3学期始業式、3時間授業一斉下校
8	土	
9	日	
10	月	成人の日
11	火	給食開始、発育測定（4,5,6年）
12	水	発育測定（1,2,3,年、なかよし）5年社会科見学、5時間授業
13	木	学力テスト（全学年）スクールカウンセラー勤務日
14	金	知能テスト1年
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	クラブ
19	水	
20	木	入学説明会
21	金	避難訓練
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	クラブ（3年クラブ見学）
26	水	租税教室6年
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	